

事業番号	03 03 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	行政経営推進事業	部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課	
		実施期間	H29 ～	E-mail	comp-gyosei @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・コロナ禍や社会のデジタル化の進展、災害の頻発化と脱炭素社会の構築に向けた取組など社会情勢が急速に変化し、県が直面する課題も複雑化・多様化している。

・人口減少下で人員や財源などの行政経営資源が限られる中において、直面する課題に創造的かつ柔軟に対応し、県民のために真に役立つ組織となるため、組織風土の改革が必要。

2 事業目的

・社会情勢や県民意識の変化を感じ取り、県民起点に立って変化を恐れず新たな取組に挑戦する「学ぶ県組織」を浸透させる。

・組織風土改革「かえるプロジェクト」の検討結果を踏まえた組織風土改革を推進し、職員が「多忙感」を感じ新たな課題や緊急事態への組織的な対応力の低下が懸念される状況を改善することで、県民のために真に役立つ組織を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

①「学ぶ県組織」の浸透と組織風土改革

・「県民のために真に役立つ組織、職員が明るく楽しく前向きに仕事ができる組織になるためにはどうすればよいか」という本質的問題に正面から向き合い、解決策を検討する組織風土改革「かえるプロジェクト」の提案を組織として確実に実施するために、提案を踏まえた取組の進捗確認と普及促進活動を実施する。

②行政経営の質的転換に向けた（部局間）連携の促進

・「学ぶ県組織」浸透のため、部局間の連携を促すための場や機会を設ける。

・県と密接な関係にある組織や団体について、所管部局と連携し、社会情勢に沿った適切な運営がなされるように促す。

4 成果指標

（推移の凡例 ♯：改善 ♮：悪化 →：変化なし ―：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	実績	推移			
①	かえプロ研修に参加した若手職員の満足度	%	—	—	—	—	75	—	80	未達成	研修を受講した若手職員が高い満足度を得ることで自発的な取組の促進に繋がるため。
②	指標なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	0	4,073	0	4,073	4,073	3,082	4.0
R6年度	0	3,034	0	3,034	3,034	2,698	5.0
R5年度	0	2,171	0	2,171	2,171	1,833	5.0

事業番号	03 03 02	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	行政経営推進事業	部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課	

7 主な取組実績と成果

①「学ぶ県組織」の浸透と組織風土改革

・10のプロジェクトによる「制度と仕組みの変革」と全庁的な重点アクションによる「職員の意識の変革（働き方改革）」について、年4回の進捗会議や各所属で旗振り役となる実行キーパーソン（部局長・課室長等 約700名）への意識調査を通じて進捗管理を行い、改革実行2年目として取組の定着・深化を図った。

＜主な成果＞

（1）県民サービス向上に向けた“しごと”改革

- ・職員の働き方を変革し、県民サービス向上につなげる「窓口・電話受付時間の設定」を令和7年11月25日から試行
多くの県民の皆様へ受付時間内の利用にご協力いただき、職員の接遇意識向上や業務の効率化といった効果を確認
※令和8年4月1日から本格実施
- ・生成AIを活用した相談・交渉記録作成の効率化や業務特化型AIの試行など、全庁横断的な業務改革（BPR）として先導的な取組を試行

（2）理念を自分のことばで語る意義を学ぶ機会の創出

- ・「コンプライアンス推進本部会議」や「知事と職員の対話集会」において、知事が行政経営理念に込めた思いを部局長や職員と共有

（3）挑戦する組織風土の芽生え

- ・若い職員から提案された新しい発想を、幹部職員が前向きに受け止めて実行
林務部：部長との打合せを部内で常時オンライン視聴
教育委員会：新規事業の進め方や業務分担、コミュニケーションの在り方などを見直す「WORK SHIFT 宣言」を策定

②行政経営の質的転換に向けた（部局間）連携の促進

- ・部局間の連携を密にするため、行政経営推進会議を14回開催し、組織風土改革の取組などに対する理解促進を図った。
- ・外郭団体の事業実施状況評価（令和6年度事業分）を実施し、公表した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	かえプロ研修に参加した若手職員の満足度	R6年度推移	－	R7年度推移	－	達成状況	未達成
-----	---------------------	--------	---	--------	---	------	-----

当該研修が初年度の取組であったことから運営面の検証・改善が十分でなかったことに加え、1回当たりの参加者数が多くきめ細やかな対応が困難であったこと、さらには実践を前提とした企画型の研修で難易度が高く参加者が自分事として捉えにくかったことなどから、目標値には届かなかった。

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・日々の業務に追われて新たな挑戦や職員相互の助け合いに手が回らない状態（いわゆる「集団皿回し」）の解消について、職員が実感するまでには至っていない。
- ・“明るく・楽しく・前向きに”働ける環境づくりを目指す組織風土改革の取組は年々拡大しているものの、現地機関への浸透には未だ課題があるほか、最終的な目的は行政経営理念に掲げる「最高品質の行政サービスの提供」であると職員一人一人が再認識できるよう、引き続き組織全体で取り組んでいく必要がある。

(2) 事業改善の方策

これまで以上に「県民に真に役立つ組織づくり」を強く意識しつつ、職員が“明るく・楽しく・前向きに”働ける職場環境づくりを推進。

①「誰かのかえプロ」から「みんなのかえプロ」へ

（プロジェクト中心の改革に加え、職員みんなが主体的に取り組む組織風土改革へ全職員参加のワークショップを開催）

②業務改革（BPR）やプロジェクト間の連携を強化、取組を加速

（「職員一人ひとりの意識変革」と「しごとの減量化・効率化」の両輪で推進）

事業番号	03 03 02	細事業一覧（令和 7 年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	行政経営推進事業			部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課

細事業 No.	細事業名			R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	「学ぶ県組織」の浸透と組織風土改革			1,833 千円	2,698 千円	3,082 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	組織風土改革普及促進事業	直接	組織風土改革「かえるプロジェクト」の提言内容を踏まえ、下記①・②を実施 ①「かえるプロジェクト」の普及促進と提言を踏まえた実行策の進捗管理 ②専用ポータルを活用した庁内広報 ①若手職員向け研修 4 回 進捗報告会 4 回 ②随時（月 1 回程度）			

細事業 No.	細事業名			R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	行政経営の質的転換に向けた（部局間）連携の促進			－ 千円	－ 千円	－ 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	行政経営推進会議の開催	直接	部局間の連携を密にするために必要な事項について議論を行う会議を開催する。 毎月 1 回開催			
2	長野県出資等外郭団体の事業実施状況等の評価	直接	外郭団体の事業実施状況評価（令和 6 年度実施事業分）の評価書等の記載事項チェックを行った後、評価結果を公表する（HP掲載含む）。 8 月末に評価結果を公表			
3	審議会等の設置及び運営に関する指針に基づく確認・助言	直接	審議会等の設置及び運営に関する指針に基づき、各部局が審議会等の設置及び条例又は要綱等の改正を行う場合に、内容の確認・助言を行う。 随時受付			